

金融知識の情報源

大東文化大学 郡司 大志

日本の家計は欧米に比べて危険資産の保有比率が極めて低い。本稿は、この原因が金融知識の少なさであるかどうか検証する。家計の危険資産保有では学歴効果がしばしば観察されるが、この効果は金融知識を考慮することでほとんど消えてしまうことを示す。また、その金融知識を得るための情報源として有効なのは、新聞やマネー雑誌の記事、金融機関のウェブページなどであり、ブログや SNS、フィナンシャル・プランナー、家族の助言などを参考にしている家計では金融知識が得られていないことが分かった。したがって、金融知識を効率的に得られるようにするためには、新聞やマネー雑誌、ウェブページなどを活用する必要があることが示唆される。